

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.120

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人：室橋 高男

〒060-8543

北海道札幌市中央区南1条西16丁目

北海道公立大学法人

札幌医科大学附属病院 臨床工学部

TEL 011-611-2111

第25回北海道臨床工学会終了



去る2014年11月30日に第25回北海道臨床工学会が開催されました。会員皆様の日常業務及び創意工夫、研究などについて多数の演題発表、活発なご討議をしていただき成功裡に終わることが出来ました。

また、会当日に設けられた、当会への入会受付で多数の申し込みがあり、ついに会員数が1,000人の大台を超える、記念すべき大会でもありました。

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.120

第 25 回北海道臨床工学会終了	1
第 25 回北海道臨床工学会報告	2
北海道臨床工学会演者の皆様へ	3
北海道医療新聞の掲載記事	3
アフェレシス技術セミナー2014・第 34 回日本アフェレシス学会北海道地方会終了	4
北海道心カテセミナー2014 Vol.1 終了	4
北海道手術室安全セミナー in 札幌終了	4
医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について	5
RM ニュース	6
1 月からの予定表	7
理事会からのお知らせ	7

第25回 北海道臨床工学会 報告



開会の辞の様子

第25回北海道臨床工学会は室橋高男会長の開会の辞で始まり、特別講演、教育講演、一般演題の口演、ランチョンセミナーを行い加藤伸彦副会長の閉会の辞をもって全プログラムを無事終了いたしました。

本工学会は、血液浄化、呼吸器、循環器、ME管理、手術、教育・その他など幅広い分野で情報の発信、意見交換する絶好の機会となりました。

また、教育講演では東北薬科大学の菊地徹先生に東日本大震災での経験とペースメーカーデバイス管理の重要性について、特別講演では腎臓内科めぐみクリニックの佐藤恵先生にCKD-MBDのお話を大変わかりやすく講演していただきました。

参加者の皆さま、ご講演を頂いた先生方、座長をお務め頂いた先生方、協賛を頂いた各企業の皆さまには心より感謝申し上げます。



佐藤恵先生による特別講演の様子

<単位取得について>

- MDIC 単位取得 一日参加 10 点、演題発表 10 点、共同演者 3 点
→更新時には本学会の参加証が必要です。
- 教育講演に対してペースメーカー関連専門臨床工学技士単位取得
→教育講演受講証明書が必要です。
- 特別講演に対して血液浄化専門臨床工学技士単位取得
→特別講演受講証明書が必要です。
- 透析技術認定士 更新単位取得
→更新時には本学会の参加証が必要です。



受付と機器展示会場の様子

<参加状況>

会員	230名
非会員	47名
賛助会員	55名
学生	177名
計	509名

出展企業数:15社
広告企業数:16社

<学術プログラム>

一般演題:10セッション62題
特別講演:1題
教育講演:1題
ランチョンセミナー:2題

北海道臨床工学会 演者の皆様へ

北海道医療新聞の 掲載記事

(重要!!) 演者の皆様へ

一投稿原稿提出についてのお願い一

公益社団法人 北海道臨床工学技士会
広報委員会

今回、発表される一般演題を会誌に掲載いたします。掲載を希望される方で、学会当日に投稿原稿を提出されない方は、「投稿・執筆規定」に従い、下記の期日までに必ず投稿原稿を提出して下さい。提出は郵送でもメールでも受け付けます。

編集用に用意しているパソコン(Windows)には、Microsoft の Word2010 と Power Point2010に対応できるようにしています。原稿はWord、図表にはPowerPointを用い、上記環境にて正常に動作するデータでお送り下さい。また、図表は白黒に修正してからお送り下さい。

なお、公益社団法人北海道臨床工学技士会会誌は現在ISSN登録となっています。今回発表される内容を他学会にて全く同じ内容で論文投稿の予定がある場合は二重投稿とみなされますので、注意をお願いいたします。

記

締め切り期日： 2015年1月15日(木) 必着

原稿送付先：〒070-8610

北海道旭川市金星町1丁目1-65

市立旭川病院 臨床工学室

窪田 将司<Kubota Syouji>

Phone : 0166-24-3181(内線 8307)

FAX : 0166-24-1125

Mail : s_kubota@city.asahikawa.hokkaido.jp

※後日投稿の意志に変更が生じた場合も、上記まで連絡をお願いいたします。

第25回北海道臨床工学会の様子は、12月5日の北海道医療新聞にも掲載されました。

記事では、東北薬科大学病院の菊地徹先生にご講演頂いた教育講演「東日本大震災時に臨床工学技士が果たした役割」の様子や、当会の会員数が1,000人を超えたことなどが紹介されました。



2014年12月5日：北海道医療新聞掲載記事



しんぶん

アフレスシス技術セミナー2014 第34回日本アフレスシス学会北海道地方会終了



アフレスシス技術セミナーの様子

2014年10月25日に、札幌北楡病院 講堂におきまして、「アフレスシス技術セミナー2014」と「第34回日本アフレスシス学会北海道地方会」が開催され、道内各地より多数のご参加頂き、盛会裡に終わることができました。

本セミナーは当会が主催、日本アフレスシス学会北海道地方会の後援を頂き合同開催致しました。

3題行われた技術講演では、東レ・メディカル株式会社、旭化成メディカル株式会社、ガンプロ株式会社の3社のご協力のもとアフレスシス療法の現況や、安全管理についてわかりやすく講義していただきました。

開催に当たり後援頂いた日本アフレスシス学会北海道地方会、ご協力を頂いた各社の皆様に御礼を申し上げます。

北海道心カテセミナー2014 Vol.1終了



北海道心カテセミナーの様子

去る11月22日にTKP札幌ビジネスセンター 赤れんが前において北海道心カテセミナー2014Vol.1が開催されました。本セミナーは「造影剤腎症と腎保護」をテーマに当会と株式会社GOODMANの共同で開催されました。

セミナーでは「造影剤腎症と腎保護の実際」と題して洛和会丸太町病院 塩田裕啓先生に講演していただきました。

また、パネルディスカッションでは「自施設における心カテ業務」をテーマに4人の先生に講演、討議して頂きました。

パネルディスカッションの演者の皆様、ご講演頂いた先生方に深く御礼を申し上げます。

北海道手術室安全セミナーin札幌終了



北海道手術室安全セミナーの様子

去る11月15日にTKPガーデンシティ札幌駅前において北海道手術室安全セミナーin札幌が開催されました。

本セミナーは以前より電気メス安全セミナーとして開催しておりましたが、近年の医療安全に対する意識の高まりを踏まえ、手術室の安全管理のみならず、病院全体の医療安全という広義の話題を取り扱うセミナーとして、これまでに札幌、旭川、函館、釧路、帯広、北見など全道各地で過去16回開催し、好評を頂いております。

講演内容は医療安全をテーマとして具体的な事故事例を織り交ぜながら情報の共有とその対策について学べ、日常業務に役立つ内容で行われました。

本セミナーにご協力いただき、講義していただいた先生方、座長の労をお取りいただいた先生方に深く御礼申し上げます。

医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について

薬食安発 1110 第 3 号
平成 26 年 11 月 10 日

公益社団法人全国自治体病院協議会 殿

厚生労働省医薬食品局安全対策課長

医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について

日頃より医薬品・医療機器等の安全確保対策に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

医薬品・医療機器等安全性情報報告制度は、医薬関係者等が、医薬品又は医療機器について副作用等の発生を知った場合において、必要があると認めるときに、厚生労働大臣に対し直接副作用等を報告するものです(注1)。報告された情報は専門的観点から分析又は評価され、必要な安全対策を講じるとともに、広く医薬関係者等に情報を提供することで、市販後安全対策の確保を図ります。

今般、薬事法等の一部を改正する法律(平成 25 年法律第 84 号)が施行されることに伴い、平成 26 年 11 月 25 日より、本制度の報告窓口が独立行政法人医薬品医療機器総合機構に変わります(注2)。報告窓口の変更についての周知及び本制度のより一層の普及を図るため、「医薬品・医療機器等の副作用・感染症・不具合報告のお願い」とともに本制度の啓発ポスターを全国の医療機関・薬局等へ改めて配布することといたしました。

つきましては、医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の趣旨を御理解いただき、本制度の普及・定着のため、貴会会員への本制度の周知について御配慮をお願いいたします。

(注1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和三十一年八月十日法律第百四十五号)第 6 8 条の 10 第 2 項

(注2) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和三十一年八月十日法律第百四十五号)第 6 8 条の 1 3 第 3 項

制度の趣旨

医薬品・医療機器等安全性情報報告制度は、日常、医療の現場においてみられる医薬品、医療機器又は再生医療等製品の使用によって発生する健康被害等(副作用、感染症及び不具合)の情報を医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(以下「法」という。)第 68 条の 10 第 2 項に基づき、医療関係者等が直接厚生労働大臣に報告する制度です。

報告された情報は、専門的観点から分析、評価され、必要な安全対策を講じるとともに、広く医療関係者に情報を提供し、医薬品、医療機器及び再生医療等製品の市販後安全対策の確保を図ることを目的としています。

なお、法第 68 条の 13 第 3 項に基づき、厚生労働大臣が独立行政法人医薬品医療機器総合機構(以下「機構(PMDA)」という。)に医薬関係者についての副作用等報告に係る情報の整理を行わせることとしたため、平成 26 年 11 月 25 日より、報告窓口は機構(PMDA)に変わりました。

厚生労働省

報告も大切な予防医療

～STOP! 副作用・不具合・感染症～

医薬品、医療機器、再生医療等製品による副作用、不具合、感染症に気づいたら、ためらわずにすぐ報告ください。

これは医薬関係者の方々の義務です。
短い段階でも結構です。皆さんの報告が多くの人の健康を守ります。
(医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に関するお問い合わせはこちら)

平成26年11月25日より
報告先が変わります

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)
安全第一部 安全性情報課



医薬品・医療機器等 安全性情報報告制度
<http://www.info.pmda.go.jp/info/houkoku.html>

医薬品による副作用や感染症、医療機器および再生医療等製品の不具合などの発生や疑いがあれば、速やかに報告をお願いします。 (医薬品部外品および化粧品についても報告をお願いします。)

ファクス、郵送、電子メール等で受け付けています。

制度の趣旨

この制度は、日本の医療の現場で医薬品、医療機器または再生医療等製品を使用したことにより発生した健康被害などの情報(副作用情報、感染症情報等)は不具合情報と、法に基づき、医療関係者の健康被害発生状況に報告する制度です。報告された情報は専門的観点から分析、評価して必要な安全対策を図るとともに、広く医療関係者に提供し、市販後安全対策の確保に資します。

※医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(法律第68条)

報告対象施設・報告者

報告対象施設: すべての医療機関、薬局および法施行期前受診者など

報告者(医薬関係者): 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、その他の臨床などで業務に携わっている方(医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士は再生医療等製品を取り扱う)

報告対象となる情報


医薬品、医療機器または再生医療等製品の使用による副作用、感染症または不具合の発生(医療機器の場合は、健康被害が発生するおそれのある不具合も含む)であり、健康被害上の危害の発生または拡大を防止する観点から、報告の必要がある情報です。

※医薬品、医療機器または再生医療等製品と健康被害の因果関係が不明な場合でも、報告が望まれます。

※不具合情報(副作用、感染症)は、再生医療等製品及び再生医療等製品を対象としていますが、再生医療等製品及び再生医療等製品以外の健康被害(健康被害)は、報告を望みます。

情報の取り扱いと秘密保持

報告された情報の扱いは、下記の通りです。



※当該調査を実施する場合があります。

また、報告された情報は、報告者の氏名、施設名および患者のプライバシーなどに係る部分を除き、公表することがあります。

報告用紙

インターネットで入手いただけます。
<http://www.info.pmda.go.jp/info/houkoku.html>

また、医療機関が保有する定期刊行物の申し込みも行っています。

報告方法

独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全第一部安全性情報課にお送りください。

ファクスによる報告 FAX: 0120-395-390

電子メールによる報告
メールアドレス: anzensei-hokoku@pmda.go.jp

郵送による報告
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

報告期限

特に報告期限はありませんが、保健衛生上の危害の発生または拡大防止の観点から、報告の必要性を認められた場合は速やかに報告してください。

その他

①報告者は、匿名により送附を交付します。
②健康食品・健康補助食品等医薬品によるものと疑われる健康被害については、最寄りでの保健所にご連絡ください。

ワクチンの副反応報告について

ワクチン接種後の副反応報告は、報告用紙-報告方法の医薬品医療機器等安全性情報報告用紙とは異なりますのでご注意ください。

報告用紙 予防接種後副反応報告書をご利用ください。
<http://www.info.pmda.go.jp/info/fukuhannou.html>

報告方法

独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全第一部安全性情報課にお送りください。

ファクスによる報告 FAX: 0120-176-146

郵送による報告
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

②メールによる副反応報告の受付はしていません。

③その他 副反応報告については受領書の発行はしていません。

医薬品医療機器情報提供ホームページ

独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)は、ホームページで医薬品、医療機器等の安全性に関する情報を発信しています。
<http://www.info.pmda.go.jp/index.html>

医薬品医療機器情報提供サービス(PMDAメディア)

PMDAメディアとは、医薬品等の安全性に関する特に重要な情報が迅速に届けられる、メールによる情報提供サービスです。このサービスは、お問い合わせください。
<http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-push.html>

医薬品副作用被害救済制度
生物由来製品感染症等被害救済制度

医薬品、生物由来製品を消費したにもかかわらず副作用や感染症が発生し、人命を脅かすような健康被害を受けた場合は、被害者、被害者家族、被害者遺族等に対する制度です。医薬品による健康被害を受けたことのある皆さんにぜひ知ってほしいという、この制度を教えてください。

独立行政法人医薬品医療機器総合機構「相談窓口」

TEL: 0120-149-931
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

◆RM ニュース◆

＜手術ミス 白内障手術、 レンズを左右逆に＞

神戸市の病院は3日、白内障患者の両眼に眼内レンズ（アクリル製・直径6ミリ）を挿入する手術で、左右のレンズを逆に取り違える医療事故があったと発表した。病院側は患者に謝罪。左眼の術後経過は良好だったため、右眼レンズのみを交換手術した。

同病院によると、患者は同市内の70代男性。主治医が手術に向けた検査結果を電子カルテに記入する際、誤って左右の度数データを逆にしまい、手術の指示簿にもそのまま反映された。

手術が実施されたのは左右ともに5月中。右眼の手術後の検査で、患者から「見えにくい」と訴えがあり、発覚した。左眼の見え方に問題はなく、再手術は行わなかった。

主治医は「確認が不十分だった」と話し、診療科部長から嚴重注意を受けた。同病院はこの医療事故について「単純ミス」と説明。手術前にレンズの度数を複数の医師で確認するよう、徹底した。

毎日新聞社 2014年10月4日(土) 配信

＜「不適切麻酔で意識障害」と告訴＞

登米市の病院（登米市迫町）で手術中に不適切な麻酔をされ、重い意識障害を負ったとして、同市の主婦（73）が7日までに、業務上過失致傷の疑いで、男性麻酔科医＝石巻市＝を宮城県警佐沼署に告訴し、同署が受理した。病院は調査委員会を設置して麻酔科医のミスが原因と判断したが、公表していない。

告訴状によると、麻酔科医は2013年6月20日、自宅玄関先で転んで右手首を骨折した主婦の骨を固定する手術を担当。人工呼吸器（麻酔器）の操作を誤った上に気管挿管に失敗し、主婦を低酸素脳症に陥らせた業務上過失致傷の疑いがあるとしている。

病院は手術の3週間後に調査委を設け、ことし2月に報告書をまとめた。

(1) 麻酔科医が麻酔器の始業点検で外した部品を戻し忘れ、酸素が漏れた状態で麻酔薬を投与した

(2) 酸素を送るチューブを食道に挿入した

の二つの過失が原因だったと結論付けたが、これまで明らかにしていない。

病院側は「医療事故の公表基準がなく、主婦の家族の心情に配慮して公表を控えた。麻酔科医が告訴されたことについては事実関係を把握しておらず、コメントできない」と説明している。

主婦は低酸素脳症により自力での移動や食事、会話などができず、現在も入院している。成年後見人に選任された弁護士が告訴状を提出した。

麻酔科医は大学病院（仙台市青葉区）からの派遣で、非常勤だった。

河北新報 2014年10月8日(水) 配信

＜「人工呼吸器に欠陥」提訴 筋ジス患者の遺族＞

筋ジストロフィーで自宅療養していた男性＝当時（31）＝が死亡したのは人工呼吸器の欠陥が原因だとして、遺族が製造会社や呼吸器を貸し出した国立病院機構などに計1千万円の損害賠償を求める訴訟を17日までに東京地裁に起こした。

訴状などによると、男性は2007年から人工呼吸器を自宅ですべて使っていた。昨年4月11日朝、のどにつなげる呼吸器のチューブが外れて呼吸できなくなっているのに母親が気づき、病院に搬送したが同日夜に亡くなった。チューブが外れたことを知らせる警報は鳴らなかったという。遺族側は訴状で「チューブと警報の構造に欠陥があった」として、製造会社には製造物責任法に基づく賠償責任があると主張。国立病院機構に対しては「呼吸器の使い方の指導が不十分だった」と訴えた。

共同通信社 2014年10月17日(金) 配信

＜酸素吸入中にたばこ、 火災相次ぐ…死亡事故も＞

酸素吸入器を使用中に、たばこを吸おうとして火災になるケースが、今年に入って東京都内で2件起きていたことが東京消防庁の調査でわかった。

酸素吸入器の酸素は高濃度で引火しやすく、同庁などは、近くで火を使わないよう呼びかけ

ている。

酸素吸入器は、呼吸を補助する医療機器。濃縮装置で作成した高濃度の酸素を鼻に差し込んだチューブを通して、体内に送り込む。

同庁によると、今年5月、足立区の女性(51)がチューブを鼻から外し、たばこを吸ったところ、火種がチューブに触れて引火し、大けがをした。10月には港区の男性(79)が酸素吸入器を着けたまま、たばこを吸おうとしたところ、チューブから漏れ出した酸素に引火、顔や服に火が燃え広がり、死亡した。同様の火災は2004年～13年の10年間に都内で11件起き、計8人が死傷しているという。

医療用ガス供給業者などで作る「日本産業・医療ガス協会」(港区)によると、チューブには大気中の約4～5倍の濃度の酸素が通っており、マッチや線香などの小さな火種でも、鼻などから漏れた酸素に触れると、一気に燃え広がる可能性がある。同協会は「家族も含めて、火気を近づけないよう注意してほしい」としている。

読売新聞社 2014年10月31日(金) 配信

<腹腔鏡手術後8人死亡…

群大病院、同じ医師執刀>

群馬の病院(前橋市)で2011～14年、腹腔鏡(ふくくうきょう)を使う高難度の肝臓手術を受けた患者約100人のうち、少なくとも8人が死亡し、病院が院内調査委員会を設置して調べていることがわかった。

8人を執刀したのはいずれも同じ医師。同病院ではこれらの手術は事前に院内の倫理審査を受ける必要があるとしているが、担当の外科は申請していなかった。

病院関係者によると、手術が行われたのは第二外科(消化器外科)。死亡した8人は60代～80代の男女で、肝臓がんなどの治療として腹腔

鏡を使う肝臓切除手術を受けた。手術と死亡の因果関係は現時点では不明だが、8人は術後に容体が悪化し、約3か月以内に肝不全などで亡くなった。

事態を重く見た病院側は現在、同科肝胆脾(すい)(肝臓、胆道、膵臓)グループの全手術を停止している。

読売新聞社 2014年11月14日(金) 配信

1月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載のwebサイトをご覧ください。

2015年5月23日(土)～24日(日)

「第25回 日本臨床工学会」

会場 福岡国際会議場ほか

福岡県福岡市博多区石城町2-1

<http://www.ja-ces.or.jp>

理事会からのお知らせ

平成26年度11月までの理事会からのお知らせ

- ・ 第25回北海道臨床工学会運営について
- ・ 次年度、第2回東北北海道臨床工学会(北海道開催)について
- ・ 会員数について、1,000人突破(11/30付:1,005人)
- ・ 会費未納者の対応について



高リン血症治療剤 処方せん医薬品[※] 薬価基準収載

リオナ® 錠250mg

Riona® 一般名: クエン酸第二鉄水和物

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること



効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

資料請求先

鳥居薬品株式会社 お客様相談室

TEL 0120-316-834 FAX 0120-797-335

販売元
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

製造販売元
日本たばこ産業株式会社
東京都港区虎ノ門二丁目2番1号

2014年5月作成



遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 薬価基準収載
 生物由来製品 / 劇薬 / 処方せん医薬品^(注)

エポエチンアルファBS注 750 シリンジ「JCR」
 1500 3000 「JCR」

Epoetin Alfa BS Injection エポエチン カップ(遺伝子組換え)[エポエチンアルファ後続1]製剤
 (注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること。

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

販売元 **キッセイ薬品工業株式会社** 製造販売元 **JCRファーマ株式会社**
 松本市芳野19番48号 <http://www.kissei.co.jp> 兵庫県芦屋市春日町3-19
 <資料請求先>くすり相談センター 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号 <資料請求先>学術企画部 兵庫県芦屋市春日町3-19 TEL 0797-32-3635
 TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622 2014年1月作成

キンダリー透析剤4号シリーズ、 透析剤の選択肢が広がります。

人工腎臓用透析液 キンダリー[®]透析剤 AF-1号 <small>薬価基準収載</small>	人工腎臓用透析液 キンダリー[®]透析剤 AF-1P号 <small>薬価基準収載</small>	人工腎臓用粉末型透析剤 キンダリー[®]透析剤 1E <small>薬価基準収載</small>	人工腎臓用粉末型透析剤 キンダリー[®]透析剤 1D <small>薬価基準収載</small>	資料請求先: 扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 学術部門 〒536-8523 大阪市城東区森之宮二丁目3番30号 TEL 06-6964-2763
---	--	---	---	---

効能・効果、用法・用量、使用上の注意などは添付文書をご覧ください。



医療と福祉の融合を目指す
アクティブグループ

AG

URL <http://www.actg.co.jp>

専門スタッフが豊富な知識・技術・経験を駆使して
医療現場をフルサポート致します。

医療機器・医療材料の総合商社
株式会社アクティブメディカル
東京都文京区西片1丁目15番15号春日ビジネスセンタービル
支店: 横浜・千葉・西東京・札幌・旭川・帯広・室蘭・釧路

AsahiKASEI 日本から世界へ 旭化成メディカルの人工腎臓

APS-EA APS-A Series APS15EA APS-Aシリーズを継承した 高機能ダイアライザー	APS-SA APS-A Series APS15SA ポリスルホン膜の スタンダード	VitabranE VPS-HA ² ビタミンE固定化 ポリスルホンダイアライザー	kf-m Series kf-m17 高齢者にやさしい EVAL [®] 膜での透析	ABH Series ABH-P SERIES ABH-F SERIES ポリスルホン ヘモダイアフィルター
--	--	--	---	---

旭化成メディカル株式会社 No.2014-4-8065

<http://www.asahikasei-medical.co.jp>

NIPRO マキシフラックス[®] **MFX[®]-eco** タイプ

血液透析濾過器 高度管理医療機器
医療機器承認番号: 22200BZX00931000

BPA FREE

- 透水性能に優れるポリエーテルスルホンを中空糸膜素材に採用しました。
- 性能の異なるMFX[®]-M eco・MFX[®]-E eco・MFX[®]-S eco・MFX[®]-U ecoの4種類をラインアップしています。
- 最大2.5㎡までの膜面積をラインアップしています。
- 環境ホルモンBPA[®]の溶出リスクがありません。

※BPAは環境ホルモンのビスフェノールAの略称です。

NIPRO 製造販売 ニプロ株式会社 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

CARDIOSAVE & TRANS-RAY 7 Fr. IABP患者にとって最適な治療

Fiber Optic Sensor IAB Catheter
TRANS-RAY 7Fr.

細径化、高速化...患者と医療従事者のために

販売名: IAB カテーテル TRANS-RAY
医療機器承認番号: 22400BZX00035000

販売名: 大動脈内バルーンポンプ CARDIOSAVE
医療機器承認番号: 22500BZX00029000



MORE THAN A PUMP. A REVOLUTION
CARDIOSAVE

血行動態サポートの新しいスタンダード



MAQUET
GETINGE GROUP

製造販売元

マック・ジャパン株式会社

カーディアックアシスト・ビジネスユニット

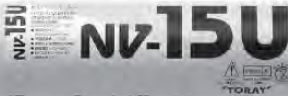
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲23階
TEL:03-5463-8315 FAX:03-5463-6856

'TORAY'

Innovation by Chemistry

NV

ポリスルホン製中空糸型透析器
モイストタイプ



高度集約型透析器 医療機器承認番号: 22200BZX000871000
トセライト® NV / 機能分離 V 型 (NV-U/S シリーズ) / 機能分離 V 型 (NV-X シリーズ)

《吸着水》に着目した膜表面改質技術によって、
生体適合性と透析性能を高いレベルで実現。

- 膜表面改質技術によって、優れた抗血栓性を実現。
- ハウジング構造を見直すことで、血液と透析液の流れを改善。
- シャープな分画特性、膜のファウリング低減により、アルブミン漏出を抑え、目づ除去性能を向上。
- 親水性ポリマーをγ線で架橋固定し、溶出を抑制。
- 環境への取り組みとして、当社ウェットタイプに比べ 60%軽量化し、目づケース素材にサーマルリサイクル効率の高いポリプロピレンを採用。

販売元 **東レ・メディカル株式会社** 製造販売元 **東レ株式会社**
<http://www.toray-medical.com/>

日本語の画面と易しい操作で、 NPPVからTPPVまでをサポート

- わかり易い日本語入力 ●直感的に操作できる操作画面
- PCと連動したモニタリングが可能
- 軽量化と充実したオプションで、車椅子での使用にも対応
- 9種の多彩なモードを搭載(圧正・従量が可能) ●安心の5電源対応

Better Breathing for you

スマートベンチレータ **ivivo 50**



呼吸関連機器をリードする

CHEST チェスト株式会社

本社/〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-11
札幌VC/〒001-0020 札幌市北区北20条西3丁目(江洋ビル)

TEL.(03)3813-7200(代)
TEL.(011)756-8585(代)

ホームページ <http://www.chest-mi.co.jp>

- 札幌 VC (011)756-8585 ●仙台 VC (022)385-6411 ●さいたま VC (048)810-5471 ●東京 VC (03)5904-5032 ●横浜 VC (045)260-2611 ●静岡 VC (054)631-7861 ●名古屋 VC (052)935-6631
- 大阪 VC (06)6351-7251 ●広島 VC (082)294-3641 ●岡山 VC (086)246-1511 ●松山 VC (089)922-6264 ●高松 VC (087)899-6090 ●福岡 VC (092)512-2481



生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という
創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い
仕事と誇りを持ち、日々努力を
続けております。



Medical Support Service Provider

- 血液浄化 ● 低侵襲機器 ● 内視鏡
- 整形外科 ● 「専門領域に特化した支援・サポート」 ● 眼科
- ニースにお応えするため、それぞれの診療・治療に
特化した専門担当部門を設けています。
- 循環器 ● 画像診断機器 ● テクニカルサポート

株式会社 竹山

代表取締役 茂野 護
本社/〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
☎011-611-0100(代表) <http://www.takeyama.co.jp>

- 充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制
- 札幌 中央支店: ☎011-205-8061 北支店: ☎011-205-8065 新札幌支店: ☎011-861-2223
 - 北支店支店: ☎011-711-0123 弘前支店: ☎011-711-0124 市内営業所: ☎011-205-8062
 - 札幌センター: ☎011-205-8063 釧路支店: ☎011-826-5161
 - 道南(道南) 室蘭支店: ☎0143-45-1221 苫小牧支店: ☎0144-53-2101 小樽支店: ☎0134-29-4524
 - 室蘭支店: ☎0126-25-6992 函館支店: ☎0139-83-5000
 - 道東(道北) 網走支店: ☎0154-25-2241 北見支店: ☎0157-31-3224 帯広支店: ☎0155-35-5800
 - 旭川支店: ☎0166-73-3011 空知支店: ☎0125-54-3465 道北支店: ☎01654-3-9955
 - 支店 東京支店: ☎03-3814-0103 横浜営業所: ☎045-232-3310

安全機構付き 止血弁内蔵透析用留置針

ハッピーキャス SV

- 1 バックカット小孔針
壊れた切れ跡と良好な操作性を実現
- 2 ワンタッチ安全機構
簡単な操作で医療従事者の安全を確保
- 3 多数回弁
災害時に、カンシ不用で迅速な緊急離脱を補助



メディセット株式会社

医療機器承認番号: 21400BZ00343000

〒113-0034 東京都文京区本郷3-25-11 TEL:03-3813-9201
東京都文京区本郷3-25-11 TEL:03-3813-9201
<http://www.medixet.co.jp/>
<http://www.medixet.com/>

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番地・☎(011)746-5111

経験と実績から生まれたME機器管理システム



詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400



呼吸管理のパラダイムシフト

新生児・小児・成人用人工呼吸器
サーボベンチレータ

Servoⁱ
医療機器承認番号:21200BZY00120000



本社 / 〒060-0906 北海道札幌市東区北六条東2-2-1 TEL (011)721-3251代
お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間:月~金曜日(祝祭日,休日を除く) 9:00~18:00
<http://www.fukuda.co.jp/> **フクダ電子北海道販売株式会社**

●旭川営業所 〒078-8345 北海道旭川市東光五条3-1-1 TEL (0166) 32-6970代 ●釧路営業所 〒085-0058 北海道釧路市愛国東2-11-16 TEL (0154) 39-1088代
●函館営業所 〒040-0012 北海道函館市時任町20-12 TEL (0138) 55-6097代

NAVA Neurally Adjusted Ventilatory Assist

NAVAとは呼吸中枢からの呼吸出力に基づいて動作する横隔膜の活動電位(Edi)を、胃内に留置した電極付栄養カテーテルで測定し、その信号に基づいて換気補助を行う自発呼吸モードです。



透析効率の把握、治療の最適化を図るための
透析量モニタ*搭載 *任意仕様



個人用多用途透析装置

DBB[®]-100NX

高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
医療機器承認番号:22400BZX00363000



日機装株式会社 本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL: 03-3443-3751 FAX: 03-3473-4965

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	石川幸広
	旭川赤十字病院	臨床工学課	脇田邦彦
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	木村吉治
	仁友会 泌尿器科内科クリニック	臨床工学科	野尻 誠

印刷

前田印刷株式会社

〒078-8233

旭川市豊岡3条6丁目

2番20号

0166-34-0111